

私たちは会社回答に納得できない!

その③

要員問題について

会社主張

個別のところを取り上げるのは難しいが、**業務遂行に必要な要員は確保する。鉄道事業の特性上、必要な要員を確保するために、一定程度の時間外労働は発生することはある。今後も安定した事業運営のための必要な要員は確保していく。安全はトッププライオリティ**ということ是不変。一方、世の中は生産年齢人口の減少で採用が難しくなっている。

私たちの主張

・**職場は要員不足によって疲弊している!** 仕事に穴をあけないように、度重なる超勤や休日出勤を担い、何とか仕事を回している苦しい現実を報いるべきだ!
・**「必要な要員は確保する」と言いつつも、人は一向に増えていかない!**とすると、今の人数で足りているというのが会社の認識ではないか? 要員問題は安全問題にもつながることを強く認識するべきだ!



要員不足という表現はあるが、必要な要員は配置していく。



表現の問題ではなく、職場は明らかに要員不足! 現実を直視するべきだ!

新卒採用者数

【2022 年度入社】

519 人

【2023 年度入社】

386 人

※経験者採用を除く

離職率

【2022 年度】

1.4%

※2023 年度はまだ発表されていません。

※定年退職者を除く

団体交渉の中では、2023 年度の離職率について示せる数字はないとしつつも、「退職者が以前より多いと認識している」という考えが出されました。

減る要員に、増える仕事。そして増えない賃金。企業としての魅力が低下しているのではないか!?



青年部員の声

社員の働き度と賃金が全く釣り合っていない。人手不足の負担を社員に一方的に押し付けているように感じる。

過去最高の働き度、過去最高の物価上昇に賃金が追いついていない。これは過去最高の「労働者搾取」だ!

鉄道利用者が戻りつつある中で、現場の社員は少ない人数で奮闘している! 私たちの頑張りをきちんと見ているのか!?

社員のモチベーションの低下、離職率の高さに危機感を持ってほしい。

**好調な業績は、職場の苦勞と努力によって生み出されている!
要員不足の職場現実を直視し、その努力に報いるべきだ!**